



★環境かわら版編集部★
NISO 事務局(生活環境課内)
連絡先:22-7001 内 2555、2556
s-kankyo@city.nobeoka.miyazaki.jp

環境パネル展を開催しました

6月5日の「環境の日」、6月の「環境月間」にあわせて、6月1日～6月13日の期間、市民スペースにて環境パネル展を開催しました。

環境の日は、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められました。日本では、環境庁(当時)の主唱により、6月の一か月間を「環境月間」としています。

今年度は、生活環境課と資源対策課合同でサステナブルファッションやリサイクル、廃棄物についてのパネルや、環境に関する本を展示しました。環境について理解を深め、関心を持っていただくよい機会となりました。



◆環境トピックス◆【NHK】




アメリカ海洋大気庁は、2021年の大気中のメタン濃度は平均1895.7ppb(排出量は6億4000万トン)であり、工業化前よりも162%高く、1年間の上昇率としては1983年の観測開始以来最高の17ppbを記録したと発表した。増加の主な原因は、永久凍土の融け出しや、熱帯の雨量増加による湿地の腐敗、



植物や牛など家畜のゲップなど生物起源とされるが、根本原因は人間による温暖化や肉食が大幅に増えたためであり、制御困難な悪循環に陥る可能性がある。

毎日できるゼロカーボンアクション

日々の暮らしの中で、毎日お手軽にできるアクションがこんなにもあります！
少し意識して実践してみては！？

- ☑ クールビズ 
- ☑ 節電・節水
- ☑ 食事を食べ残さない
- ☑ 食材の買い物や保存等で食品ロス削減の工夫
- ☑ 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- ☑ 今持っている服を長く大切に着る
- ☑ 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。
マイバッグ、マイボトル等を使う 
- ☑ ごみの分別処理 

食事も環境に配慮してみましょう

食品生産に伴う温室効果ガスは世界の排出量の3分の1を占めています。そのため、地球温暖化防止のパリ協定の目標達成にはエネルギー分野だけでなく、食生活の改善も必要です。

牛肉や加工肉は、玄米や小麦粉などの穀物に比べ、生産段階で多量の温室効果ガスを排出します。また、牛肉や豚肉、加工肉は大腸がんのリスク要因にもなります。

東京大学の佐々木敏教授(社会予防疫学)のチームは、玄米など全粒穀物の摂取量を増やす一方で、牛肉や加工肉を減らすことなどにより、健康と環境を両立した日本人の食生活が実現できそうだとする研究結果をまとめました。

実行できそうなことから取り組み、健康や環境に配慮した生活を送りましょう。



◆◆みんなのアイデア SHOW◆◆

【川柳編】 ありのままの ^{すがた} 体型見せるの エコのため
「肥満気味」肥満の人が よく使う
ちょっと待て その青虫は アゲハ蝶
肥満化は 努力要らずで 持続可能

